

# 明日の家族を考える会 会報



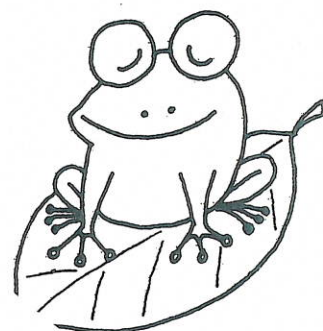
- ・発行 明日の家族を考える会・会長 羽賀紘一 ・事務局 守上三奈子
- ・発行責任者・編集人 羽賀紘一 ・毎月1回発行
- ・事務局 〒659-0091 芦屋市東山町11-21 羽賀方 TEL. 090-3275-5083  
FAX. 0797-22-4009 URL <http://wnw-ashiya.com> MAIL [info@wnw-ashiya.com](mailto:info@wnw-ashiya.com)

第85号

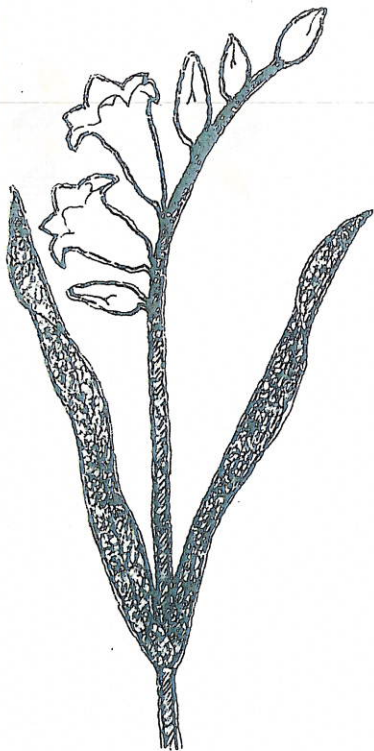
2016年6月

## 第12回定期総会開催

- 日時 2016. 6. 2 (木) 12:00~12:30
- 場所 ホテル竹園芦屋
- 出席者確認 (敬称略) 正会員 大脇、河村、中島、羽賀、守上  
賛助会員 岩尾、上田 以上7名
- 正会員10名の内、出席者8名、(委任状3名: 中村、宮本、安井含む)  
会則に基づき総会は成立。
- 配布資料の確認 第12回定期総会資料
- 議長選出 羽賀会長 ・議事録作成人指名 羽賀会員  
・議事録署名人指名 中島会員



紫陽花 (アジサイ) が花を咲かせ、いよいよ夏の到来を感じます



岩尾さん

上田さん

羽賀さん

河村さん

第1号議案	役員の改選(説明者:羽賀会長)
第2号議案	2015(平成27)年度事業報告の承認(説明者:羽賀会長)
第3号議案	2015(平成27)年度決算報告の承認(説明者:河村会計担当)
	2015(平成27)年度決算監査報告(報告者:守上会計監査担当)
第4号議案	2016(平成28)年度事業計画の承認(説明者:羽賀会長)
第5号議案	2016(平成28)年度予算案の承認(説明者:河村会計担当)
第6号議案	2016(平成28)年度会則の変更の承認(説明者:羽賀会長)

以上、各議案ごとに慎重に審議した結果、異議なしとして承認されました。  
羽賀会長より、議案が承認されたことに対し、お礼の言葉があり、閉会した。

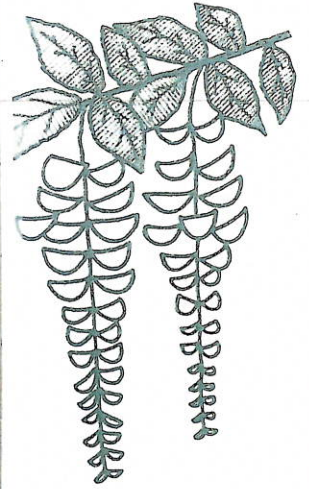
## 第12回定期総会に続き、定例会・昼食懇親会開催

12:30~14:20

- 出席者確認 総会出席者と同じ
- 配布資料 ・会員名簿  
・芦屋市立精道小学校の応援団 すまいるねっつつうしん NO. 17
- 懇談事項

### 1. 会員確認

杉本照子会員・・名簿から削除、2012年6月に退会申し出があったが、寄付金(1万円)をいただいたので3年間、賛助会員になっていただいていた。  
貴田貴美子会員・・会費確認する。(河村さん)



中島さん

大脇さん

守上さん

- 榎本淳子会員・・・総会を持って賛助会員退会 (FAX受信)
2. リードあしやよりイベントへの参加依頼  
第9回芦屋市民活動フェスタ 6月11日(土) 10:00~16:00  
場所: リードあしや全館 無料
  3. 10周年記念誌セット完了し、印刷にかかる。借用していた写真返却

○次回会合

7月28日(木) 幹事会 ホテル竹園芦屋 19:00~20:30

当会10周年記念誌が  
出来ました。  
会員全員に配布し  
ました。



創立10周年記念誌



この町がすき

作詞 芦屋市の小学生たち・後藤悦治郎(紙ふうせん) 共作  
作曲 後藤悦治郎(紙ふうせん)

1. 春は魚たちが とびはねる  
さくらふきながす 芦屋川  
夏は子どもたちが あそんでる  
白いヨットはしる あしや浜  
海と山をそめて きょうもまた日が昇る  
この町がすき あなたがいるから  
ひまわりのような えがおに あえるから
2. 秋はとんぼたちを おいかけよう  
山の上に月が 昇るまで  
冬は空の星を みあげよう  
夢をそっと星に あずけよう  
海と山をてらし きょうもまた日が昇る

\*この町がすき あなたがいるから  
ひまわりのような えがおに あえるから  
(更に2回くりかえし)

## ○水無月の大祓 (おおはらい) について

6月30日と12月31日に芦屋神社をはじめ全国の神社で行われている神道儀式。祓いは浄化の儀式として神社で日常的に行われているが、特に天下万民の罪穢れを祓うという意味で大祓という。

### 6月30日の大祓

「夏越の祓い」、名越の祓(なごしのはらえ)または「夏祓」、「夏祓神事」「六月祓」などとも呼ばれる。

拾遺和歌集に「題しらず」「よみびと知らず」として、「水無月のなごしの祓する人はちとせの命のふというふなり」という歌にも見える。

この時期は梅雨の時期にあたり、祭礼が終わると梅雨明けから猛暑と日照りを迎えることになるが、この過酷な時期を乗り越えるための戒めでもあったようである。

### 茅の輪くぐり

夏越しの祓いでは「茅の輪くぐり」(ちのわくぐり)が行われる。参道に鳥居や笹の葉を建てて注連縄を張った結界内に茅で編んだ直径数メートルほどの輪を建て、ここを氏子が正面から最初に左回り、次に右回りと8字を描いて計3回くぐることで、半年間に溜まった病と穢れを落とし、残りの半年を無事に過ごせることを願うというものである。かつては茅の輪の小さいものを腰につけたり、首にかけたとされている。



設置された茅の輪 (芦屋神社にて)

## 大祓詞 (おおはらえのことば)

茅の輪くぐりの際には3つの唱え言葉を唱えながらくぐる。

1. 「水無月の夏越の祓ひする人は千歳の命延ぶというなり」  
\* 「拾遺集」よみ人知らず
2. 「思ふことみなつきねとて麻の葉を切りに切りても祓へつるかな」  
\* 「後拾遺集」和泉式部
3. 「蘇民将来、蘇民将来」

茅の輪くぐりの最後の唱え詞は、「蘇民将来、蘇民将来」、大祓で穢れ(=気枯れ)を祓うことによって気力再生を図る。すなわち「若返り」を祈る。大祓は「蘇民将来」の故事に則り連綿と続けられてきた、息災延命、長寿祈願の行事である。

## 人形代 (ひとがたしろ)

自分の身代わりになるもの。人形代(ひよがたしろ)に静かな反省と祈念を込めて人形代で身体を撫で、また身体の調子の悪いところを撫で、次に息を3度ふきかけてから袋に納める。

芦屋神社の場合は、人形代は息災招福の祈願をした後、浄火で焼納される。地域によっては川や海に流すところもある。この「流す」行為は、後に願掛けと結びつき、同時期に行われる七夕祭りと結びついて短冊を流すことがある。

## 解縄 (ときなわ)

燃らされた縄を両手で解きほぐす。解きほぐした縄は紙に包み、浄火で焼納される。



紅ガクあじさい



墨田の花火

# 6月の子育て支援活動

## \*カルガモクラブ・・・河村さん担当

毎週第1火曜日10:00~11:30 前田集会所にて  
第3木曜日13:00~17:00 同上

0歳児~3歳児の親子が対象です。手遊びから、リズム遊び、紙芝居・絵本の読み聞かせ、自由遊びのなかで友達づくりなど、子どもの成長に合わせた遊びを行います。

また、新米ママの育児の悩みを先輩ママやボランティアスタッフがサポートしてくれます。子育て仲間をつくって育児を楽しみながら、子どもと一緒に学び成長しましょう。

6月7日(火)は、**6組の親子**(子どもは8人)が参加されました。  
ボランティアは山内さん

6月16日(木)は**4組の親子**(子どもは6人)が参加されました。  
ボランティアは、なし



みんなで仲良く遊びました。  
←

ハサミの使い方を覚えたよ



# まちの寺子屋



6月4日(土) 10:00~12:00 前田集会所にて

=お父さんの写真立てを作りました=

まちの寺子屋は、幼稚園児、小学校低学年を対象に毎月第1土曜日、  
10:00~12:00 前田集会所(前田町8-17)で開催  
しています。

今日の参加者は、5名でした。父の日(今月20日)に  
お父さん にあげる写真立てを作りました。ボランティアはなし



## ○過去1年間によく行ったスポーツ・運動

笹川スポーツ財団が定期的実施している調査で男子が過去1年間によくやったスポーツはという設問(10代の男女3000人対象)の結果が先日発表された、それを見ると、

1位: サッカー      2位: バスケットボール      3位: 野球  
4位: ジョギング・ランニング      5位: ドッジボール

\*コメント

2001年の調査開始以来、サッカーはずっと1位を維持。

野球がはじめて3位に後退した。

女子の1位: バドミントン      2位: おにごっこ      3位: バレーボール

## ○スポーツ実施頻度

週7回以上スポーツをしている。      35.5%

スポーツを全くやらないと答えた人      13.2%

\*コメント

ほとんど変化が見られず2極化傾向が続いている。

スポーツ実施とスポーツ関連支出および世帯収入の調査結果では、スポーツ実施頻度と世帯収入との間には有意な相関関係は認められないが、スポーツ関連支出との間では、特に10代で強い相関性が確認出来る。

いわゆる本格的なスポーツ活動に参加するためには、それなりに豊かな社会・経済的背景が必須である現状が明らかになった。

=知っておきたい知識=

## お父さんを[さすが]と思ったとき

日経生活モニターにネット調査会社マイクロミルが全国10～60歳代の男女を対象にインターネット調査で、父親を頼りに感じ、さすがと思ったことを聞いた結果、ランキングは下記のようなものでした。

共働き世帯の増加など父親を巡る社会環境は変化しているが、家庭での父親像・親子関係は従来とあまり変わらないと言える。

1. まじめに仕事に取り組んでいる。

2. 家族にお金の心配をさせない

1と2の2つは圧倒的に多かった。毎日仕事に行って給料を稼いで家族が安心して暮らせるようにする、という昔ながらの理想の父親像が出ている。

3. クルマの運転が上手

4. 急な出来事にも冷静に対応した

5. 電気関係に詳しい

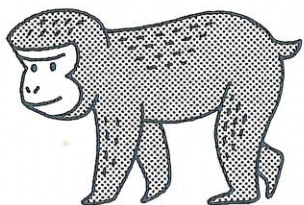
6. 勉強を教えてくれた

7. 職場の関係者に慕われている

8. 自転車の乗り方を教わった

9. お母さんのことを大切にしている

10. スポーツを教わった



編集後記

禅の修業道場に行ったときのこと、分厚い板に「生死事大・無常迅速・光陰可惜・時不待人」と書かれ、吊りさげられている。

大意は、人は(絶対に)生き死にから逃れられない

(そして)全ての事は常がなく、すぐに移り変わっていく

(だから)過ぎていく時、一瞬を惜しみ、今を大切に生きなければならない

(決して)時は待ってはくれない

このことは、日々の生活を送る上で、肝に命じておきたいことだと思った。

(羽賀)